

2023 年度東大病院優秀指導医賞受賞者のご紹介

2024 年 3 月 19 日に東大病院優秀指導医賞表彰式が行われ、瀬戸病院長より表彰状が授与されました。

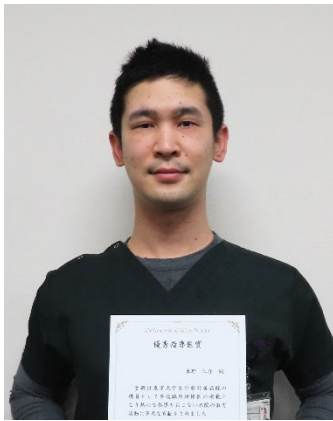
東大病院に課された重要な使命のひとつは、幅広い分野で優秀な医療人を輩出することであり、東大病院でこそ行うことのできる教育があると考えられております。

「優秀指導医賞」は病院内で、臨床研修医への教育・指導に大きな貢献を行った医師に対して、その労を称え表彰するものです。受賞された先生方のますますのご活躍をお祈りいたします。

優秀指導医賞受賞者 受賞コメント

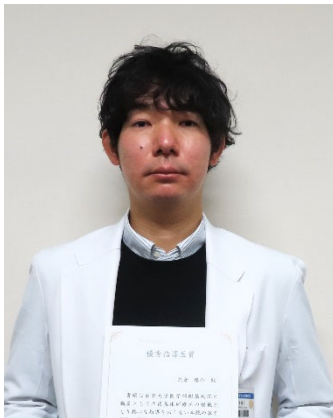
受賞者から、受賞コメントを寄せていただきました。

救急・集中治療科 水野 仁介 先生



本院において当科は研修医の皆さんが「救急患者の急性期診療」「重症患者の集中治療」「初診患者の総合内科診療」に接する場であり、臨床医に必要なスキルの多くを学べる機会です。今回皆さんが「あの指導、あの経験は自分の血肉になった」と感じたなら嬉しいです。いずれ同僚として医療の場で働く皆さんに、先達としてあるいは仲間として引き続き協力させていただきたく思います。困ったら、或いは救急がもっとやりたくなったら、いつでもご相談ください。

精神神経科 熊倉 陽介 先生



精神神経科は、必ずしも、臨床経験の多い指導医であるから良い医療が提供できるという性質の診療科ではないと考えています。入院担当になった初期臨床研修医が真摯に関わることで、患者さんのその後の生活や人生に良い影響を与える可能性が十分にある科です。精神神経科が初期臨床研修の中で必修とされていることの意味について考えながら、研修医を含めたその時々チームで提供できる診療の質を高められるよう努力していきたいと思っております。

消化器内科 石垣 和祥 先生



この度は身に余るご評価を頂き、誠にありがとうございます。腫瘍センターでの取り組みが評価されたということで大変嬉しく思っております。腫瘍センターでは、平日は毎朝多職種カンファを行っております。多職種カンファを通じて、患者さんの情報をより多角的に共有するだけでなく、がん薬物療法に若手医師・メディカルスタッフが少しでも興味を持ってもらえるように日々心掛けています。腫瘍センターが当院のがん診療・教育・研究の中心となれるように今後も頑張っていきたいと思えます。

感染症内科 山本 真也 先生



栄誉ある賞に選出していただき、大変光栄です。特別なことはしていませんが、感染症内科全体で教育熱心な文化があり、その取り組みをご評価いただき皆で受賞したものだと感じております。当科で研修された先生方に、充実した時間を提供できていたのであれば嬉しい限りです。私自身も研修医の先生方の日頃の診療姿勢や質問から刺激を受け、沢山の事を学ばせていただきました。先輩方から受けた指導の恩を還元できるよう、これからも精進していきたいと思えます。

胃・食道外科/乳腺・内分泌外科 大矢 周一郎 先生



この度は身に余る賞をありがとうございます。外科研修は拘束時間が長くてつらい！大変！と思われてしまうことが多く、実際「楽ではない」とは思いますが、自分たちの手で直接的に患者さんを治す充実感は格別で、それを研修医の先生方と共有できて少しでも「楽しい(かも?)」と思ってもらえたのであればこれほど嬉しいことはありません。引き続き充実した研修をしていただけるよう、科全体で取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

精神神経科 越山 太輔 先生



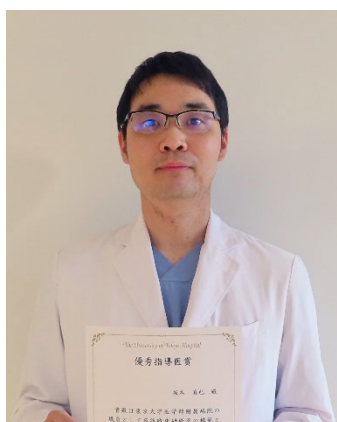
すばらしい賞を賜り、誠にありがとうございます。東京大学病院には、将来の医療のリーダーとなる有望な研修医の先生が、多くいらっしゃいます。そのような先生方とともにお仕事ができることをとても幸せに感じております。精神神経科には勉強熱心、教育熱心なスタッフが多数いらっしゃいます。この度はそのような土壤のある科全体の受賞と考えております。これからも先生方とともに日々楽しく臨床活動に従事し、患者さん方が幸せな人生を送ることができるよう、力を尽くしてまいります。ありがとうございました。

精神神経科 市橋 香代 先生



医師としての伸び代の大きい時期の臨床研修医の方々と一緒に業務を行う中で、その感性や吸収力に日々感嘆しています。精神科の研修では、精神疾患の治療可能性を実感してもらうことと、精神疾患を抱えていること自体が標準的な医療や出産の機会を逃す障壁にならない「あたりまえの臨床実践」を経験してもらうことを目指しています。そうした学びの環境を実現している各科の多職種スタッフのご尽力に感謝しております。

放射線科 坂本 直也 先生



学習の助けになればと思い、研修医の先生とコミュニケーションを取ることを心がけていました。今後様々な診療科に進む先生方のお役に立てたのであれば幸いです。一方、人に教えることを通じ、普段曖昧にしていたことに気付かされるなど、自分にとっても有意義な時間だったと改めて感じています。

過去の受賞者に、研修医時代にご指導いただいた先生もお見かけし、とても恐縮する思いです。この度は大変光栄な賞をいただき誠にありがとうございました。